埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 7, Number 1

2018



第9回 埼玉アクセス研究会 ^{学術集会} プログラム・抄録集 **第46回 埼玉透析医学会** PROCEEDINGS-2017



埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 7, Number 1

2018



第9回 埼玉アクセス研究会 ^{学術集会} プログラム・抄録集 **第46回 埼玉透析医学会** PROCEEDINGS-2017

埼玉透析医学会

http://www.ssdt.jp/

INDEX

巻 頭 言1
第9回埼玉アクセス研究会 学術集会 プログラム・抄録集
会場案内図·会場見取図 ·······5
参加者へのご案内とお願い6
発表論文原稿執筆要項について 8
プログラム10
抄 録
特別講演15
ランチョンシンポジウム
スイートシンポジウム23
わかりやすいレクチャー29
一般演題31
世話人会一覧38
共催企業一覧39
第46回埼玉透析医学会学術集会 PROCEEDINGS-2018 proceedings 目次
学術集会開催記録 93 2018年施設名簿 94
埼玉透析医学会会則96
埼玉透析医学会 役員

次回開催のご案内

第47回 埼玉透析医学会学術集会・総会

会 期:2018年12月2日(日)

会 場: 大宮ソニックシティーホール 4F 国際会議室 〒 330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5 TEL: 048-647-4111

大会長:山下 芳久(埼玉医科大学保健医療学部 臨床工学科)

会 長:松村 治(医療法人朋壮会 南古谷クリニック)

演題申し込み方法: オンラインによる演題受付とします。 詳細は後日アップされる埼玉透析医学会 HP をご覧ください。

演題募集期間:2018年8月1日~9月30日

事 務 局:埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

TEL: 049-276-1611 FAX: 049-295-7338

E-mail: jinnai@saitama-med.ac.jp

巻 頭 言

腎代替療法の現況と課題



埼玉透析医学会 会長 松村 治

末期慢性腎不全(CKD-G5)になると、腹膜透析・血液透析・腎移植の中から治療法を選択することになります。しかし、臓器提供の極端に少ない本邦では実質腹膜透析か血液透析のどちらかの選択となり、95%以上の人が血液透析を施行しています。本年度の診療報酬改定で3つの腎代替療法に関わる施設に慢性維持透析患者外来医学管理料加算が新設されましたが、血液透析への偏りが変わることはないと思われます。腎移植は、命予後ならびに医療経済的にも人工透析を凌駕しており、若い透析患者さんが少しでも多く腎移植を受けられるように国を挙げて努力する必要があります。臓器移植センターの調査では国民の半数近くが臓器提供に抵抗ないと答え、臓器移植意思表示カードに意思表示をしている人も少しずつ増えています。しかし、ここ数年献腎移植数は減少傾向にあります。献腎移植を増やすためには、幅広い議論を継続して多くの国民が臓器移植意思表示カードに意思表示するようになることと、意思表示の有無を医療機関で確実に把握することが必要と考えます。全国的にみて埼玉県は献腎移植提供の少ない県ですが、少しずつ増えており今後さらに増加することを期待しています。

埼玉県は、大学関連病院を中心に腹膜透析、在宅血液透析の患者さんも多く、また On-line 治療を提供する施設も多数あり、皆様の努力で比較的選択肢の多い透析医療が 提供できていると思います。しかし、今後もさらに高齢化が進む中で多くの課題があります。高齢透析患者さんは、腎不全以外の心血管疾患、癌、骨折・脊柱管狭窄症などの整形疾患および認知症などを合併あるいは発症することが多く、細やかな全身管理ならびに介護・リハビリ援助が必要です。透析医は、良い透析医療を提供するだけでなく、「かかりつけ医」としての役割を求められていると考えます。そして限りある命をどのように終えたいか本人・家族と相談しておくことも必要となっています。このような多様な課題に対応するためには、今まで以上にチーム医療と医療連携を推進して行く必要があります。埼玉透析医学会が、透析医療に関する幅広い課題を前向きに議論する場となるように努力したいと思います。

2018年6月

埼玉透析医学会 会誌 第7巻 第1号 2018年

9th Saitama Society For Dialysis Access

Abstract 2018

第9回埼玉アクセス研究会学術集会

- 会長:中川 芳彦(関越腎クリニック)
- •副会長:四宮 敏彦(大宮中央総合病院)
- 日時: 平成30年7月29日日9:20~
- 会場:大宮ソニックシティ 小ホール(ホール棟2階)

共催:埼玉透析医学会

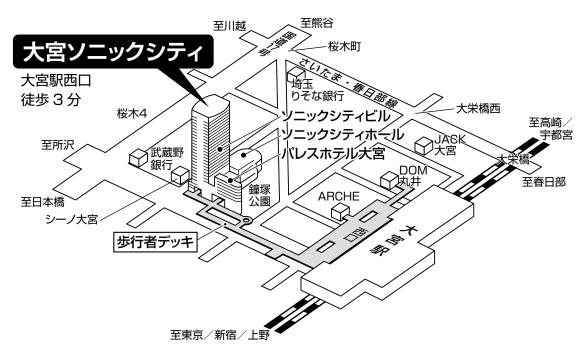
事務局: 〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981

埼玉医科大学総合医療センター 血液浄化センター TEL: 049-228-3523 / FAX: 049-226-6822 URL: http://www.saitama-med.ac.jp/kawagoe/

E-mail: jinkojin@saitama-med.ac.jp



会場案内図





-お問い合わせ

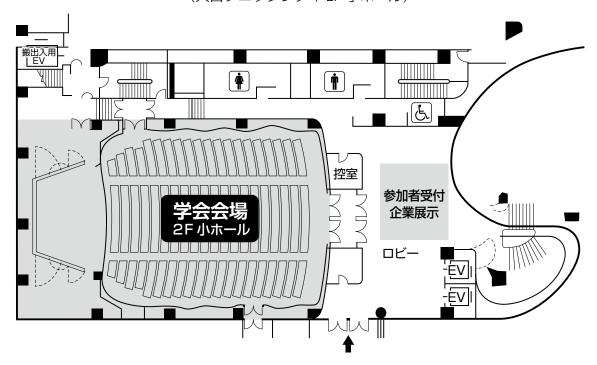
財団法人埼玉県産業文化センター(大宮ソニックシティ)

〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町 1 丁目 7 番地 5 ソニックシティビル 5階 私書籍 75 号

TEL: 048-647-4111 TEL: 048-647-4159

会場見取図

(大宮ソニックシティ 2F 小ホール)



参加者へのご案内とお願い

■参加者の皆様へ

1. 会 期 平成30年7月29日(日)

2. 会 場 大宮ソニックシティ 2階 小ホール

(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)

3. 参加受付時間 9:00 開始

4. 開演時間 9:20~16:30

5. 参加費 1,000円

- **6.** 発言される際はマイクを使用し、最初に所属と氏名を明らかにして下さい。限られた時間内に討論ができるように、予めマイクの前にお並び下さい。
- 7. 携帯電話のご使用はロビーとし、会場内ではマナーモードの設定をお願いします。
- 8. クローク、貴重品のお預かりはできませんのでご了承下さい。
- 9. 会場内の喫煙は禁止されておりますのでご了承下さい。
- 10. 一般演題の中から厳正な審査を行い、BestPresentation に対して表彰を行います。
- **11**.5学会合同認定"透析療法指導看護師"の受験資格ポイント取得対象会として認定されています。

■埼玉透析医学会の役員、埼玉アクセス研究会世話人、司会・座長の方へ

演題の審査表を受付にてお受け取りください。審査後は受付へのご提出をお願いします。

■司会・座長・コメンテーターの方へ

- **1.** 総合案内にて受付をお願い致します。
- 2. 開始予定時刻10分前までには次司会・次座長席へ、ご着席下さい。
- **3.** 限られた時間内で発表が円滑に進むよう、質問・討論を希望される参加者がいる場合は、司会者が指名し質問・討論が速やかに行われるようご指示下さい。

■演者の方へ

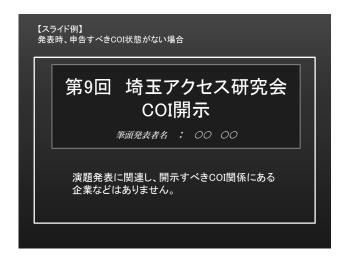
- **1.** 一般演題は発表7分、討論3分とさせていただきます。
- 2. 発表方法はデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)のみとします。
- 3. 発表時間30分前までに USB のメディアを持参し、PC 受付でご確認ください。
- **4.** プレゼンテーションは windows PowerPoint(データ作成のアプリケーションソフトは Windows PowerPoint2010/2013/2016のバージョンが使用できます)での作成に限らせて いただきます (Mac の Keynote でスライドを作成した場合は、スライドが正しく表示され ない可能性があります)。

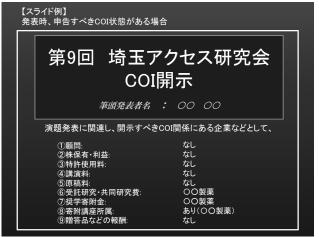
- 5. スライドの枚数制限はありませんが、発表時間を厳守してください。
- **6.** PC 持ち込みの場合、会場でご用意する PC ケーブルコネクタ (Din-sub 15pin) の形状に変換するコネクタを必要とする場合には、必ずご自身でお持ちになってください (特に Mac を持込みの場合、Din-sub 15pin 接続ケーブルの持参をお願いいたします)。
- 7. 埼玉透析医学会記録集に掲載する原稿を8月末までに事務局へご提出ください。
- 8. 当日の発表時に利益相反についての情報開示をお願いいたします。 発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。 後述する「利益相反自己申告に関するスライド例」を参考にしてください。
- 9. 閉会挨拶時に BestPresentation の表彰を行いますので、ご参加をお願いいたします。

■発表について

演台にキーボード、マウスがございます。データ持ち込み、PC 本体持ち込み、いずれの場合も、演台にセットされているキーボード、マウスをご使用ください。会場では、演者ご自身で演台上の機材を操作していただきます。お預かりしたデータの1枚目のページをオペレーターが出しますので2枚目からはご自身で送り・戻しの操作をお願いいたします(発表者ツールのご使用はできません)。

「利益相反自己申告に関するスライド例」





発表論文原稿執筆要項について

本学術大会でご発表された内容は、埼玉透析医学会会誌 (第7巻2号) 掲載用の論文として収載して頂くことをお願いしております。下記の会誌投稿に関する内規に承諾していただき、発表スライドの当日受付で提出、もしくは平成30年8月31日(金)までに下記送付先までE-mail またはCDで提出をお願いいたします。

特別講演

ご担当頂いた講演について総説としてご執筆賜りたくお願い致します。

ランチョンセミナー・わかりやすいレクチャー

ご発表頂いた講演について総説としてご執筆賜りたくお願い致します。

シンポジウム・一般演題

ご発表頂いた演題について発表論文としてご投稿下さいますようお願い致します。

会誌投稿に関する内規

埼玉透析医学会(以下「当会」という)は、「当会」が発刊する「会誌」への投稿に関し、 以下のとおり定める。

1. 投稿の種類

「当会」が発刊する「会誌」への投稿は、①埼玉透析医学会および埼玉アクセス研究会の 学術集会で発表されたものから、発表論文として論文集に掲載するために投稿するものと、 ②会誌編集委員会の企画により、投稿を依頼されたものとする。なお、論文は透析医療に 関するもの、会員に対し有益な内容で、他誌に発表されていないもの(抄録を除く)ある いは投稿中でないものに限るものとする。また、個人情報保護の観点から容易に個人が特 定されないように十分に配慮しなければならない。利益相反がある場合は記載すること。

2. 投稿資格

論文の筆頭著者は原則として「埼玉透析医学会の施設会員」とする。

3. 原稿の作成

- 1) 原則としてパーソナルコンピュータを使用し、文字のみの本文を Word または Text のファイル形式で作成する。
- 2) 文字数は図表を含めず総説は8,000程度、発表論文は4,000程度を目安に作成し、本文には頁をつける。
- 3) ①図表は Word、Excel、Power Point、JPEG、GIF で作成する (写真などは鮮明なものを使用する)。
 - ②掲載は原則的に白黒印刷であるため、カラーで提出される場合は印刷時のコントラストに配慮する。

- ③図表は本文とは別のファイルを用意し、図表の下に番号を記し、本文中に挿入位置 を明示する。
 - ※他誌書から図表を転載利用する場合(自筆も同様)は、著作者ならびに出版元の許 諾が必要となる。
- 4) 文献は主要なもののみ10点以内とし、文中の引用箇所に、半角上付で引用順に1),2) 3~5) のように記載し、著者4名以上の場合は"…、他""…、et al" とする。
 - ①雑誌の場合 著者名:論文名. 雑誌名 巻:頁(初め-終わり). 西暦年
 - ②**書籍の場合** 著者名:論文名. 書籍名(編者名), 頁(初め-終わり), 出版社名, 所在地. 西暦年
 - ③**誌名を略記する場合** 出版雑誌の定める略名を使用し、また外国のものは Index Medicus の略称に準じる。
 - ④「孫引き」を避け、必ず原典にさかのぼって出処を明示する。

4. 論文の体裁

表題頁、本文、文献、図表の順にまとめる。

- 1) 表題頁には①題名、②著者および共同著者(全員フリガナを明記)、③所属施設名、④ 連絡先(筆頭者の所属、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス) を記載する。
- 2) 本文は I. 緒言(はじめに、まえがき)、 II. 研究方法(対象、症例、方法)、 II. 研究結果 (結果)、IV. 考察、 V. 結論(結語、まとめ、おわりに)の順序で記述する。

5. 著作権

学会誌の掲載内容(インターネット上で公開する電子媒体を含む)の著作権は、「当会」が保有するものとする。また投稿者は、投稿内容が受理され学会誌に掲載された場合、学会誌掲載内容がインターネット上で公開されることについて了解しているものとし、これによる使用料は「当会」に帰属するものとする。

6. 校 正

会誌出版社の編集後、著者校正を依頼する。

7. 原稿締切

平成30年8月31日(金)必着とする。

8. 原稿の送付先

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

埼玉医科大学病院 腎臓内科

埼玉透析医学会事務局 宛

TEL: 049-276-1611 FAX: 049-295-7338

URL: http://www.ssdt.jp E-mail: jinnai@saitama-med.ac.jp

※原則として送付いただいたメディアは返却いたしませんのでご了解ください。

第9回埼玉アクセス研究会学術集会(共催:埼玉透析医学会) プログラム

平成30年7月29日日

9時00分 受付開始 9時20分 開会

開会式 9:20~9:30

埼玉透析医学会 会長 松村 治 埼玉アクセス研究会 会長 中川 芳彦

一般演題 1 9:30~10:00

座長: 濱本 耕平(自治医科大学附属さいたま医療センター) 大野 玲奈(友愛日進クリニック)

O1-1 VA 作製困難例での返血目的での上腕動脈表在化 + 深部静脈シャント術の経験

関越病院 松田 香 他

- O1-2 上腕動脈表在化の創部に陰圧閉鎖療法を行い良好な経過が得られた腹膜透析患者の一例 埼玉医科大学病院 深谷 大地 他
- O1-3 VA 血流過剰に対して血管内グラフト吹き流し法の施行後、 拡張静脈部グラフト置換術に切り替えた1症例の経験 一両術式の相違点に関する考察一

関越腎クリニック 中川 芳彦 他

わかりやすいレクチャー 10:00~10:20 (共催:協和発酵キリン株式会社、テルモ株式会社)

司会:松田 香(関越病院)

『スタッフのための VAIVT 基礎知識』

清水 泰輔(埼玉医科大学総合医療センター)

一般演題2 10:30~11:00

座長:浅野 学(望星病院)

野邊 香奈子(埼玉石心会病院)

O2-1 当院における血液透析シャントに対する経皮的血管形成術

上尾中央総合病院 大野 大 他

O2-2 炭酸ガス造影を用いた VAIVT 時に一過性脳虚血発作を生じた一例

自治医科大学附属さいたま医療センター 濱本 耕平 他

O2-3 超音波ガイド下腕神経叢ブロックによる VAIVT 時鎮痛の有効性:第二報

自治医科大学附属さいたま医療センター 千葉 英美子 他

特別講演 11:10~12:10

(共催:中外製薬株式会社、株式会社カネカメディックス、鳥居薬品)

司会:小川 智也(埼玉医科大学総合医療センター)

『様々なシャントとシャント穿刺について』

室谷 典義(独立行政法人 地域医療機能推進機構 千葉病院)

ランチョンシンポジウム 12:20~13:40

(共催:株式会社メディコン、キッセイ株式会社、メディキット株式会社、

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社)

『VA 開存の工夫』

司会:野本 健児(友愛日進クリニック)

岩城 智美(桶川腎クリニック)

コメンテータ:大野 大(上尾中央総合病院)

パネリスト:

LS-1 看護師が行う穿刺時の皮膚消毒薬の選択 ~50 倍希釈ポピドンヨード液をメインとして~

秀和透析クリニック 友菊 香

LS-2 透析クリニックでの VA 管理 ~多職種連携シャントチーム8年間の活動~

上尾中央腎クリニック 鈴木 恵理香 他

LS-3 再循環率測定を使用したバスキュラーアクセス管理

自治医科大学附属さいたま医療センター 内田 隆行 他

LS-4 シャント開存の取り組み・エコー &VA 専門外来

埼玉医科大学総合医療センター 吉野 秀樹 他

一般演題3 13:50~14:30

座長:友利 浩司(埼玉医科大学病院)

安田 邦彦(埼玉医科大学総合医療センター)

O3-1 当院の臨床工学技士による VA エコーの現状と役割

埼友クリニック 目﨑 雄大 他

03-2 在宅血液透析患者の自己穿刺指導とバスキュラーアクセス管理について

埼玉医科大学総合医療センター 葉 優寿 他

O3-3 VA(バスキュラーアクセス)カンファレンスの導入を試みて

友愛クリニック 古庄 拓也 他

O3-4 カフ型カテーテルよりも自己血管をバスキュラーアクセス (Vascular Access: VA) に

埼友草加病院 金井 彬

スイートシンポジウム 14:40~16:20 (共催:日機装株式会社、ニプロ株式会社、扶桑薬品株式会社)

『映像(画像・動画)で考える印象症例』

司会:江泉 仁人(戸田中央総合病院) 佐伯 直純(埼友草加病院)

パネリスト:

SS-1 上腕動脈表在化における術中での注意点と術後合併症に対する対応

関越腎クリニック 中川 芳彦

SS-2 透視下 PTA 後に急性上腕動脈閉塞を発症した1例

大宮中央総合病院 四宮 敏彦 他

SS-3 シャント造影所見の経年的変化

赤心クリニック 木場 藤太

SS-4 人工血管内シャント手術におけるちょっとした工夫

埼友草加病院 佐伯 直純

SS-5 印象症例・貴重症例 ーアクセス研修中の内科医の立場から一

埼玉医科大学病院 杉山 圭

表彰式・閉会式 16:20~16:30

埼玉アクセス研究会 会 長 中川 芳彦 埼玉アクセス研究会 副会長 四宮 俊彦

特別講演

特別講演

様々なシャントとシャント穿刺について

室谷 典義(ムロタニ ノリヨシ)

独立行政法人 地域医療機能推進機構 千葉病院

ランチョンシンポジウム

VA 開存の工夫

ランチョン

LS-1 看護師が行う穿刺時の皮膚消毒薬の選択 ~50 倍希釈ポピドンヨード液をメインとして~

○友菊 香(トモギク カオリ)

秀和総合病院附属 秀和透析クリニック

2008年より当院では、穿刺時の皮膚消毒に50倍希釈ポピドンヨード液を使用している。 (効果の検討については臨床透析 Vol. 25 No3 2009 p119~121 に掲載済み)

看護師は50倍希釈ポピドンヨード液を中心として、各消毒薬の消毒効果と患者個々の皮膚の状況に応じて消毒薬を選択し、使用している。

当院にて穿刺時に使用している消毒薬の種類は

- ①50倍希釈ポピドンヨード液
- ②10% ポピドンヨード液19人/395人(≒4.8%)使用
- (3)0.5% ステリクロン液5人/395人(≒1.2%)使用
- ④0.5% ステリクロンアルコール液3/395 (≒ 0.7%) 使用
- ⑤86.7% エタノール + イソプロパノール綿 となっている。

消毒薬選択時の看護師のミッションは

- 1. 穿刺による細菌等の微生物の体内侵入を防ぐ
- 2. 皮膚バリア機能の正常化
- 3. 掻痒感等の不快感の軽減 である。

50倍希釈ポピドンヨード液を中心として使用してから10年が経過した現在であっても穿刺が原因と思われる V-A 感染は0%/年、また何らかの原因によるシャント肢皮膚トラブルが10.8%/年であり、安全と安楽が図られている。今回、看護師が穿刺時の皮膚消毒薬を選択する利点について考察と報告をする。

編集後記(第7巻第1号)

4年に一度の祭典、FIFA ワールドカップ in ロシア大会が開催されている最中に会誌の編集を行っております。W 杯開催前は親善試合で三連敗を喫した日本代表。しかし、本番が始まると南米の強豪コロンビアに競り勝ち、身体能力のズバ抜けたセネガルと引き分け。日本国内が盛り上がることも納得できる戦績を上げています。そんな日本代表の戦いが世界のメディアに称賛される中、それ以上に称賛されたのが観戦したサポーターの行動でした。応援に使用した青い袋を試合終了後にはゴミ袋として利用し、観戦していた周辺のゴミ拾いをしていたのです。さらにその行為を他国のサポーターも真似を始めたとのこと、同じ日本人としても非常に誇らしいことだと思います。

話は変わりますが、7月29日に開催される埼玉アクセス研究会や12月の埼玉透析医学会の中で、県内や他県、さらには世界へと広がる何かを発信出来たら、参加される全ての方々(サポーター)のこの上ない喜びになることと思います。そのためには多くのサポーターにご参加頂き、研究会・学会を盛り上げて頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

埼玉医科大学病院 臨床工学部 村杉 浩

埼玉透析医学会 会誌

発 行 日:2018年7月7日

発 行:埼玉透析医学会

発 行 人:松村 治

編 集: 埼玉透析医学会 事務局

事 務 局:埼玉医科大学病院 腎臓内科

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38 TEL: 049-276-1611 FAX: 049-295-7338

URL: http://www.ssdt.jp/ E-mail: jinnai@saitama-med.ac.jp

編集責任者:岡田 浩一

編集委員:小川 智也、金山 由紀、佐々木 裕介、

伊佐 慎太郎、村杉 浩

出版:株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

 $\mathtt{TEL}: 096\text{--}382\text{--}7793 \quad \mathtt{FAX}: 096\text{--}386\text{--}2025$

定価:2,000円+税